

平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

平成 30 年度の函館観光は、自然の影響を受けた厳しい 1 年となりました。

上期の観光入込客数は、対前年同期比 4 % 減の約 338 万 2 千人となりましたが、訪日外国人宿泊数は、過去最高を記録したところでございます。

このような中、平成 30 年度は、より効果的な誘客と受け入れ態勢の強化により各種事業を進めてまいりました。

国内プロモーションにつきましては、航空会社が乗り継ぎ料金を設定している地域へのプロモーションとして、5 月に福岡の博多どんたくにおいてブース出展やテレビ出演などにより当地の魅力を発信いたしました。

インバウンド対策といたしましては、当地への観光入込客数が順調に推移している香港に対して、北海道観光振興機構道南地域分科会の協力により、登別国際観光コンベンション協会、ニセコプロモーションボードとの連携のもとプレゼンテーションと函館の観光関係者の参加による商談会を実施いたしました。

また、LCC の航空路線誘致として、韓国へのプロモーションを実施し、路線開設に向けた意見交換を行いました。

コンベンションの誘客・受け入れ態勢につきましては、8 月に行われた GLAY ライブの開催に伴う来函者への各種歓迎を行い、好評を博したところです。

このような中、本年 4 月から 8 月までの市内主要観光施設の利用状況は、対前年同期比 90% 程度で推移してまいりましたが、9 月 6 日に発生した「北海道胆振東部地震」による風評被害等により観光客が一気に減少し、9 月の市内主要観光施設の入館者は、対前年比 60% 前後まで減少いたしました。

このため、早急な風評被害の回復を目的として、函館市においては、9月10日よりYouTubeによる動画での情報発信を、また、当協会では、9月13日よりInstagramを活用し、会員企業の協力のもと画像投稿による情報発信にいち早く取り組んだほか、インバウンド対策としては、当地への外国人宿泊数1位である台湾に対して、9月19日から函館市、函館商工会議所とともに緊急プロモーションを行ったほか、LCC就航が期待されている韓国については、9月30日から3泊4日の日程で、旅行代理店のファムトリップを実施し風評被害の払拭とコース設定を提案したところでございます。

国内観光につきましては、9月27日から、東京都内の航空会社と主要旅行代理店を訪問し、函館の現状を伝えるとともに送客依頼のプロモーションを行ってまいりました。

10月1日より、「北海道ふっこう割」の販売が始まり、また、航空各社においても各種応援キャンペーンが展開されたことから、当地への客足も少しずつ回復傾向が見られ、11月以降、主要観光施設おける入館者は、対前年同期を超える数となっているところでございます。

このほか、新たな取組として、クルーズ客船の誘致を目的としたセミナーを東京にて開催したほか、訪日観光の第一人者として旭日双光章を受賞した香港EGLツアーズ社長である袁文英氏を講師にお招きし、インバウンドおもてなし講演会を開催し、おもてなしの意識向上に努めたところでございます。

また、当協会が管理している旧イギリス領事館につきましては、市民に親しまれる施設に資するよう各種イベントを開催いたしました。

そのほか、はこだてスペシャルチケットを企画販売し、観光客の利便向上に取り組んだところでございます。